



最後の頑張りを

校長 赤尾 眞司

この頃の暖かさで、正門と北門にある河津桜の花も満開となりました。校庭の紅白の梅も咲き誇り、木々も小さな芽を付け、訪れる春を今か今かと待っています。3月の暖かい息吹は、自然だけでなく、卒業・進級という季節も伝えてくれます。



昔から、学校には見上げるものがいくつもあります。その中の一つが最上級生の6年生の存在です。新学期を迎えて、登校班の班長として、下級生の面倒を見てやさしい声をかけてくれている6年生。学校は、6年生が手本となり、見上げる存在として活動しています。今年度は新型コロナウイルス感染症対策のために教育活動に様々な制限がかかり、6年生が活動している姿を十分に見せることができませんでした。しかし、下学年にとって6年生の存在は特別です。言葉かけや行動の一つ一つ

が学校の手本になっています。先週まで6年生を送る会を行いました。今年度は学年ごとに行う会としました。6年生は、各学年に自分たちの演奏を聴いてもらうことで、頑張っている姿、しっかり取り組むことの大切さを示してくれました。

5年生との引き継ぎも行いました。責任を任された5年生の顔つきは、少し引き締まって頼もしく見えました。卒業まであとわずか、6年生にはもうひと頑張りを期待したいものです。これまで見せてくれた皆さんの「頑張る姿」を、卒業まで継続してください。6年生として、下級生に示した「頑張る姿」は、5年生を中心とした下級生に受け継がれ、「今年のように」「今年よりも来年はもっと」という希望や期待につながり、石東小を発展させる力になると信じています。



様々な面で学校を支えてくださいました保護者の皆様、地域の皆様、これまでのご協力とご支援を心より感謝申し上げます。残り3週間、6年生65名の卒業を全校で支えていきます。

3月25日の立派な姿を、楽しみにしています。

★令和3年度の教育課程について

①学級編成について

学校教育では集団で生活する意味を、友達とのかかわりを通して一人一人の成長を促すこと、集団生活の中での役割や楽しさを学ばせることと考え取り組んでいます。本校では毎年、1年生から4年生までで学級編成替えを行っています。これは、1年で集団を変えることで、友達との関係づくりが数多く経験できると考えてのことです。今年度の様子を見ても、集団活動や友達との関係作りにより効果を与えてきたと考えています。そこで今年度も、1年生から4年生まで学級編成替えを行い新しい学年を迎えます。

なお、5年生につきましては、これまで通り編成替えは行いません。これは、最高学年としての活動を期待し、成長を促すために2年間の学級集団づくりが必要と考えるからです。

②タブレットの活用について

3月1日に全児童にタブレットを持ち帰らせました。練馬区では、全児童にタブレット配布を行い教育活動に活用していきます。保護者会で配布しましたプリントを読んで、ご家庭での適切な管理と活用をお願いします。本校では3月はタブレットに慣れることを目指し、4月から学習での活用を目指しています。

3月中は、パスワードの変更はしないようにお願いします。

③新型コロナウイルス感染対策について

4月からも新型コロナウイルス感染症への対策は続きます。本校では、練馬区教育委員会の指導を受け、状況を考えながら教育活動を広げていく予定です。詳しい取り組みにつきましては、その都度、学校便り等を活用してお知らせしていきます。